

(案)

次期上京区基本計画に係る 「安心安全部会」検討資料

【 担当 】

上京区役所 地域力推進室
(企画担当)

電話 : 075-441-5029

FAX : 075-432-0566

テーマ2 快適に安心して暮らせるまち（案）

上京区は、平成30年の「刑法犯認知件数」が、前区計画開始時の平成23年から約37%減少※するなど、区民にとって概ね「総じて安心して暮らせるまち」であると認識されており、これまでの地域や各機関による「安心安全なまち」への取組成果が、区民の実感を伴って認識されています。

（※）「平成元年版 京都市統計書（犯罪認知件数）平成23年：1,153件 → 平成30年：730件」

しかしながら、近年、過去に例を見ない規模の風水害等や、世界的な感染症といった新たな脅威も発生しており、「当たり前の日常生活が突然奪われる事態」まで想定した、更なる安心安全の取組が求められています。

また、地域の防災・防犯及び景観保全等の観点から、7軒に1軒存在する上京区の空き家問題についても、地域の未来を見据えながら、所有者と地域が適切な管理等について、ともに考える取組が求められています。

本テーマでは、こうした地域課題に対し、上京区ならではの地域特性を活かしながら取り組むことで、「安心安全で持続可能なまちづくり」を推進します。

方針1

「共助」「近助」を根幹とした「自助」「公助」との連携

地域コミュニティは、長寿化が進行する社会において、支え合いのまちづくりを進める基盤となるものであり、高齢者の増加等に伴う孤立化を防ぐ役割が期待されています。

町内会等への加入を通じ、日頃から隣近所との「共助」「近助」の助け合いを大切にしながら、「自助」「公助」との連携を上手く図っていく取組を進めます。

【取組1】 家庭で取り組む災害対策

取組例	平時からの地域活動への参画		区	地
取組例	災害避難情報の収集		区	地
取組例	災害発生時に備えた連絡体制、避難場所及び非常物品等の確認		区	地

【取組2】 地域で取り組む災害対策

取組例	自治会・町内会への加入促進を通じた災害時の孤立化防止の取組		区	地
取組例	避難所における感染症等の安全対策		区	地
取組例	避難所等の確保に向けた取組		区	地
取組例	在宅避難者の把握や支援体制の確立		区	地
取組例	多様な人々が参加する防災訓練等の実施		区	地
取組例	災害時の担い手につながる学生等の連携		区	地
取組例	歴史的・文化的空間・資源を活かした防災拠点づくり		区	地
取組例	地域における災害史等を学ぶ取組の推進		区	地

【取組 3】 行政が取り組む災害対策

取組例	災害発生時に備えた住民団体（自主防災組織等）との連携	市	区	
取組例	災害発生時に備えた現場の総点検や「区災害応急対応マニュアル」の整備	市	区	
取組例	多世代が参加する防災訓練等の実施（再掲）	市	区	
取組例	避難所等の確保に向けた取組（再掲）	市	区	
取組例	避難者への支援体制の拡充	市	区	
取組例	外国人に向けた災害情報提供等の充実	市	区	



リーディングプロジェクト（素案）

<（仮称）地域の防災拠点づくり事業（案）>

災害発生時を想定した平時からの備えは非常に重要ですが、災害の規模や被害を事前に正確に把握することは困難です。

そのため、平時から、万が一の災害に備えた、避難施設や支援物資等の供給拠点の多様化を通じた災害対応力の向上を図る必要があります。

本事業では、上京区内に多く存在する社寺等の空間・資源に着目し、社寺・地域・行政が連携し、災害発生時の避難者の受入・支援物資等の供給拠点の充実を図る取組を実施します。



こんな取組が実施されています！

→ 成逸学区では、「町内会を基本とした防災のまちづくり」の取組として、学区の指定避難所である北総合支援校の補完避難所として、興聖寺さんとの間で、「成逸地域避難所協定」締結されています。

方針 2

安心安全なまちづくり

上京区では、狭い路地等が多く存在することから、環境にやさしく、便利な乗り物として、学生をはじめとする多くの区民が自転車を利用しています。

テイクアウト需要の増大等により、事業者による自転車利用も増加する傾向にあり、自転車と歩行者との接触事故や盗難等の防止が、極めて重要な課題です。

そのため、交通ルールやマナーの啓発、防犯対策に取り組めます。

また、地域内での民泊運営等について、安心安全の観点から、地域と共存できる運営体制の確立等に向けた取組を推進します。

【取組 1】 歩行者が安心して歩くことができる環境整備

取組例	交通ルールやマナー等に関する啓発活動	市	区	地
取組例	自転車の走行環境の整備	市	区	地

【取組 2】 自転車等の防犯対策

取組例	自転車ツーロックをはじめとする防犯対策の啓発活動	市	区	地
取組例	責任ある自転車の所有を促す取組の推進	市	区	地

【取組 3】 地域と共存した民泊運営の推進

取組例	民泊施設のパトロール等を通じた実態把握	市	区	地
取組例	良好な関係構築に向けた地域と事業者との協定締結への支援	市	区	地
取組例	民泊運営者の地域参画を推進（地域と交流する場の創出）	市	区	地
取組例	民泊滞在者による地域の魅力発信の支援	市	区	地

方針 3

空き家対策等の推進

管理ができていない空き家や所有者不明土地の増加は、ゴミの不法投棄や鳥獣の発生等による景観や治安の悪化へとつながるだけでなく、災害時における被害の増幅にもつながることが懸念されています。

日ごろから、地域における所有者の把握や、空き家の有効活用等につながる情報共有等に取り組めます。

【取組 1】 地域の安心安全に責任を持つ住宅管理

取組例	所有者による適切な住宅管理の推進	市	区	地
取組例	適切な相続や登記に向けた啓発	市	区	地

【取組 2】 空き家把握や所有者に寄り添う相談体制の構築

取組例	空き家・空き室の状況把握	市	区	地
取組例	空き家所有者の相談窓口の充実	市	区	地
取組例	中古住宅流通の活性化に係る取組の推進（再掲）	市	区	地
取組例	空き家等の有効活用事例の研究・共有	市	区	地

【取組 3】 快適な住環境の確保（ごみ屋敷対策等）

取組例	居住者の孤立を防ぐつながりづくり	市	区	地
取組例	地域における見回りパトロールの実施	市	区	地



リーディングプロジェクト（素案）

【（仮称）空き家を活用した公共空間づくり事業（案）】

高齢単身世帯の増加等が進む上京区では、7軒に1軒が空き家となっており、今後も増加が見込まれています。

こうした空き家は、まちの活力低下、地域の防災・防犯、生活環境及び景観等に悪影響を及ぼすことから、地域における課題となっています。

I C Tを活用した働き方の変革が進む中で、職場や家庭ではないリモートオフィス・シェアオフィスとしての空き家の活用も検討される可能性があります。

本事業では、地域や空き家の所有者が活用事例等を学びながら、空き家の流通促進を図る取組を実施します。

😊 こんな取組が実施されています！

→ 正親学区では、路地奥を中心に発生している老朽空き家への対応や、活用の可能性のある空き家の利活用に向けて、地域が主体となって高齢者等に寄り添い、空き家の発生予防等に取り組まれています。

<安心安全部会における検討キーワード>

防犯、防災・減災、交通安全、ゲストハウス、民泊、割れ窓理論、井戸、水と緑、公園、門掃き、挨拶、こども110番の家、路地、空き家、避難路、集合住宅、自転車マナー、ペットと避難、避難意識、わかりやすい日本語、備蓄、啓発活動、多言語対応、多頭飼育崩壊、ごみ屋敷、非常食のアレルギー対応、感染症、地域力、地域コミュニティ、歴史、文化、先人の知恵、みんなが担い手、協働、大学生、外からの評価、外への発信、SNS、I C Tの活用、ソーシャルディスタンス（社会的距離）の確保